

# 地域別 飲水量、体重、飲水以外の無機ヒ素曝露に関するデータ

参考2

	飲水量 (L/日)	体重 (kg)	食事・食品等からの無機ヒ素摂取量 (μg/日)	総ヒ素に占める無機ヒ素の割合	その他
全体	1.5-5 (JECFA 72nd 2010) 2 (ATSDR 2007)	60 (JECFA 72nd 2010)		無機ヒ素の経口曝露については、総ヒ素測定量から一般的な変換係数を用いて算出するのではなく、実際のデータに基づいて考えるべき (JECFA 72nd 2010)	摂取量を見積もる際にはヒトの移動も考慮すべき (NRC 2001)。
アジア	3-5(調理用水含) (EFSA2009)	55 (EFSA2009)	50-200 (EFSA2009)		
台湾	3(2-4)(調理用水含) (JECFA 72nd 2010) 4.5 (調理用水1 L/日含) (ATSDR 2007) 1又は2.2 (NRC 2001) 4.5 (NEDO 2008)	55 (JECFA 72nd 2010) 55 (ATSDR 2007) 50 (NRC 2001) 55 (NEDO 2008)	0.91 成人平均(体重1 kgあたり) (JECFA 72nd 2010 曝露評価より) 75(50-200) (JECFA 72nd 2010 用量反応評価より) 2 (ATSDR 2007) 30 (NRC 2001) 2 (サツマイモと米由来) (NEDO 2008)		
中国			0.24-0.76 成人平均(体重1 kgあたり) (JECFA 72nd 2010)		
バングラデシュ			1.68-3.00 成人平均(体重1 kgあたり) (JECFA 72nd 2010)		バングラデシュのデータは総ヒ素の70%が無機ヒ素として換算 (JECFA 72nd 2010)
南北アメリカ	1-2(調理用水含) (EFSA2009)	70 (EFSA2009)	10-20 (EFSA2009)		
USA	1 (NRC 2001)	70 (NRC 2001)	0.08-0.20 成人平均(体重1 kgあたり) (JECFA 72nd 2010) 10.22 (0.93-104.89) 成人平均 1.34 infants 12.54 60-65歳 (ATSDR 2007 曝露評価から)		
カナダ			10.5 (20-65歳) 3.7 (1-4歳) (Health Canada 2006)	食物由来のヒ素のうち25%が無機ヒ素 (Health Canada 2006)	
チリ		50 (NRC 2001)	2.08-21.48 成人平均(体重1 kgあたり) (JECFA 72nd 2010)		
欧州19カ国		標準体重60 または 記録された個々の体重 (EFSA 2009)	体重1kgあたりの無機ヒ素 欧州19カ国中間値 平均0.2962-0.4271 P95 0.5144-0.6920 (EFSA2009) 0.21-0.61 成人平均(体重1 kgあたり) (JECFA 72nd 2010)		